



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年2月3日

上場会社名 荒川化学工業株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4968 URL <https://www.arakawachem.co.jp/>  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宇根 高司  
 問合せ先責任者(役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 宮下 泰知 (TEL) 06-6209-8500  
 四半期報告書提出予定日 2020年2月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	55,111	△9.0	2,073	△33.0	2,386	△31.3	1,504	△57.5
2019年3月期第3四半期	60,534	△0.9	3,097	△26.2	3,475	△22.9	3,544	21.0

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 1,194百万円(△38.8%) 2019年3月期第3四半期 1,952百万円(△59.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	73.71	—
2019年3月期第3四半期	171.76	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	95,145	55,554	56.7
2019年3月期	92,174	56,326	59.4

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 53,916百万円 2019年3月期 54,747百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	20.00	—	22.00	42.00
2020年3月期	—	22.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	22.00	44.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭	
通期	73,000	△8.2	2,600	△27.1	2,900	△26.6	1,750	△55.0	86.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 1社(社名) 荒川ケミカルベトナム社、除外 1社(社名) 香港荒川ケミカル社

(注) 詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	20,652,400株	2019年3月期	20,652,400株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	603,551株	2019年3月期	13,251株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	20,415,959株	2019年3月期3Q	20,639,149株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の世界経済は、米中貿易摩擦をはじめとする通商問題の長期化などにより中国経済の減速が続き、国内経済は、輸出が引き続き弱含むなかで生産が一段と弱さを増しており、不透明な状況で推移しております。

このような環境のもと、当社グループにおきましては、2016年度よりスタートしました第4次中期5ヵ年経営計画の方針（「事業の新陳代謝」や「真のグローバル化」など）に沿った重点施策を進め、事業の拡大や収益性の向上、事業開発の促進に注力してまいりました。しかしながら、業績面では、電子部品向け材料の一部で需要に回復の兆しがあるものの、需要環境の悪化が継続していることによる販売数量の減少が収益に影響しました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は551億11百万円(前年同期比9.0%減)、営業利益は20億73百万円(同33.0%減)、経常利益は23億86百万円(同31.3%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は15億4百万円(同57.5%減)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

なお、セグメント区分の売上高はセグメント間の内部売上高を含んでおりません。

#### <製紙薬品事業>

製紙業界は、eコマース市場（電子商取引）の世界的な成長に伴い、段ボール原紙など板紙の需要は堅調に推移したものの、国内では輸出の減少や天候の影響による需要不振がありました。このような環境のもと、当事業におきましては、国内では板紙向け紙力増強剤などの販売が減少しました。利益面では、海外での収益性の改善により増益となりました。

その結果、売上高は144億93百万円(前年同期比9.2%減)、セグメント利益は3億80百万円(同24.8%増)となりました。

#### <コーティング事業>

電機・精密機器関連業界は、車載向け電子部品やスマートフォン向けの需要が引き続き低調でした。また、印刷インキ業界では出版・広告分野で市場の縮小が続いております。このような環境のもと、当事業におきましては、機能性コーティング材料用の熱硬化型樹脂の販売は堅調に推移しました。一方、主力の光硬化型樹脂は大幅に減少しましたが、一部で需要に回復の兆しがありました。

その結果、売上高は121億6百万円(前年同期比12.5%減)、セグメント利益は7億19百万円(同17.9%減)となりました。

#### <粘接着事業>

粘着・接着剤業界は、世界的に紙おむつ向け接着剤の需要増加が継続しており、粘着性付与剤の供給能力も増強されています。このような環境のもと、当事業におきましては、水素化石油樹脂は、生産拠点を置くドイツのコンビナートが再度停止したことに伴う原材料コスト上昇や、定期修理での生産停止が重なったことに加え、市場における需給バランスの軟化もあり、収益が悪化しました。

その結果、売上高は195億87百万円(前年同期比7.7%減)、セグメント利益は9億73百万円(同37.7%減)となりました。

#### <機能性材料事業>

電子工業業界は、長期化する米中貿易摩擦の影響などにより電子部品やスマートフォンの需要が引き続き低調でした。このような環境のもと、当事業におきましては、電子材料用配合製品および精密研磨剤、スマートフォン関連の販売は減少しました。

その結果、売上高は86億97百万円(前年同期比6.6%減)、セグメント利益は3億28百万円(同51.5%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ29億70百万円増加し、951億45百万円となりました。主な要因は、受取手形及び売掛金が16億93百万円、たな卸資産が16億88百万円減少した一方、有形固定資産が52億60百万円増加したことによります。

負債は、支払手形及び買掛金が11億94百万円、未払法人税等が4億55百万円、賞与引当金が6億38百万円減少した一方、社債が50億円増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ37億42百万円増加し、395億90百万円となりました。

純資産は、自己株式を取得したことなどにより、前連結会計年度末に比べ7億72百万円減少し、555億54百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期連結業績予想につきましては、2019年10月25日に公表しました業績予想に修正はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,061	9,044
受取手形及び売掛金	27,069	25,376
電子記録債権	1,969	2,014
商品及び製品	9,508	8,486
仕掛品	1,006	998
原材料及び貯蔵品	7,311	6,653
その他	1,143	1,994
貸倒引当金	△114	△103
流動資産合計	56,956	54,464
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,684	7,705
機械装置及び運搬具（純額）	5,956	6,484
土地	5,140	5,144
建設仮勘定	5,937	10,643
その他（純額）	549	551
有形固定資産合計	25,268	30,529
無形固定資産		
のれん	543	332
その他	398	417
無形固定資産合計	941	749
投資その他の資産		
投資有価証券	7,261	7,509
退職給付に係る資産	1,105	1,169
繰延税金資産	305	290
その他	386	345
貸倒引当金	△66	△61
投資その他の資産合計	8,991	9,253
固定資産合計	35,201	40,532
繰延資産		
開業費	17	148
繰延資産合計	17	148
資産合計	92,174	95,145

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,178	10,984
短期借入金	5,454	5,368
未払法人税等	752	296
未払消費税等	142	236
賞与引当金	1,222	584
役員賞与引当金	60	20
修繕引当金	105	—
設備関係支払手形	111	219
その他	4,825	5,371
流動負債合計	24,853	23,081
固定負債		
社債	5,000	10,000
長期借入金	3,895	3,989
繰延税金負債	1,186	1,549
修繕引当金	—	30
退職給付に係る負債	305	317
資産除去債務	330	316
その他	276	305
固定負債合計	10,994	16,509
負債合計	35,848	39,590
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,343	3,343
資本剰余金	3,564	3,564
利益剰余金	44,153	44,741
自己株式	△13	△895
株主資本合計	51,047	50,753
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,796	2,951
為替換算調整勘定	727	62
退職給付に係る調整累計額	175	148
その他の包括利益累計額合計	3,699	3,162
非支配株主持分	1,579	1,638
純資産合計	56,326	55,554
負債純資産合計	92,174	95,145

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	60,534	55,111
売上原価	47,071	43,081
売上総利益	13,462	12,030
販売費及び一般管理費	10,364	9,956
営業利益	3,097	2,073
営業外収益		
受取利息	13	20
受取配当金	164	178
不動産賃貸料	80	74
為替差益	135	—
受取保険金	5	148
その他	140	103
営業外収益合計	540	524
営業外費用		
支払利息	111	112
社債発行費	—	25
為替差損	—	19
その他	50	54
営業外費用合計	162	211
経常利益	3,475	2,386
特別利益		
固定資産売却益	5	0
投資有価証券売却益	7	352
受取保険金	1,854	—
為替換算調整勘定取崩益	—	7
特別利益合計	1,866	360
特別損失		
固定資産除売却損	78	27
固定資産評価損	—	0
出資金売却損	—	15
操業休止関連費用	—	90
特別損失合計	78	132
税金等調整前四半期純利益	5,264	2,615
法人税、住民税及び事業税	1,059	496
法人税等調整額	398	325
法人税等合計	1,457	821
四半期純利益	3,806	1,793
非支配株主に帰属する四半期純利益	261	288
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,544	1,504



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	3,806	1,793
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,429	154
為替換算調整勘定	△354	△727
退職給付に係る調整額	△69	△26
その他の包括利益合計	△1,853	△598
四半期包括利益	1,952	1,194
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,710	968
非支配株主に係る四半期包括利益	241	226

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2019年6月13日開催の取締役会決議に基づき、自己株式590,300株の取得を行っております。この結果、当第3四半期連結累計期間において、自己株式が882百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が895百万円となっております。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

第2四半期連結会計期間において、当社の特定子会社であった香港荒川ケミカル社は、清算終了したため、連結の範囲から除外しております。また、当第3四半期連結会計期間において、荒川ケミカルベトナム社を設立したため、連結の範囲に含めております。

(会計方針の変更)

当社グループの一部の海外連結子会社は、第1四半期連結会計期間より、国際財務報告基準第16号「リース」(以下「IFRS第16号」という。)を適用しております。これにより、リースの借手は、原則としてすべてのリースを連結貸借対照表に資産及び負債として計上することとしました。IFRS第16号の適用については、経過措置として認められる本基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しております。

なお、当該会計基準の適用による四半期連結財務諸表に及ぼす影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	製紙薬品	コーティング	粘接着	機能性材料	計		
売上高							
外部顧客への売上高	15,954	13,831	21,216	9,312	60,316	218	60,534
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	27	27
計	15,954	13,831	21,216	9,312	60,316	245	60,561
セグメント利益	305	875	1,562	677	3,421	22	3,443

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、損害保険、不動産仲介等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	3,421
「その他」の区分の利益	22
全社費用の配賦差額(注) 1	78
コーポレート研究開発費用(注) 2	△256
営業外損益(注) 3	△167
四半期連結損益計算書の営業利益	3,097

- (注) 1 全社費用の配賦差額は、主に報告セグメントに予定配賦した一般管理費の差額であります。  
 2 コーポレート研究開発費用は、中長期での成長の源泉となる、報告セグメントに配賦しない新規研究開発費用であります。  
 3 営業外損益は、主に報告セグメントに計上されている営業外損益項目であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	製紙薬品	コーティング	粘接着	機能性材料	計		
売上高							
外部顧客への売上高	14,493	12,106	19,587	8,697	54,885	225	55,111
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	22	22
計	14,493	12,106	19,587	8,697	54,885	247	55,133
セグメント利益	380	719	973	328	2,402	26	2,428

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、損害保険、不動産仲介等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,402
「その他」の区分の利益	26
全社費用の配賦差額(注)1	216
コーポレート研究開発費用(注)2	△218
営業外損益(注)3	△352
四半期連結損益計算書の営業利益	2,073

(注) 1 全社費用の配賦差額は、主に報告セグメントに予定配賦した一般管理費の差額であります。

2 コーポレート研究開発費用は、中長期での成長の源泉となる、報告セグメントに配賦しない新規研究開発費用であります。

3 営業外損益は、主に報告セグメントに計上されている営業外損益項目であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。